

薬剤師国家試験にまつわる「噂」

薬剤師国試研究家
 續 ひかる

ハリー・ポッター——言わずと知れた魔法使いの冒険小説ですが、最近になって読み始めて、今さらながら、はまってしまいました。一人前の魔法使いになるために学校に通っている設定ですが、考えてみれば薬学生と状況は同じような感じがしませんか。患者さんにとってみれば、薬剤師は病気を治してくれる医薬品を調剤してくれるのですから、まさに「魔法使い」といったところですよ。

真偽は不明だが

ところがこの「魔法使い」になるのが結構大変なんです。まず、薬科大学へ入学し、各学年の必修科目、選択科目（現実には選択の幅なんて、本当に僅かしかありませんけれど）を修得して進級し、最終関門の卒業試験をパス。ようやく国家試験の受験資格が得られます。ここで、よく分からない判定基準による、65%以上の正答率をクリアして、晴れて「薬剤師」になることができるわけです。実際に私も10年ほど前は、四苦八苦していました。

当を得たものも

私は薬剤師の国家試験に、長い間関わっていました。今回、新聞にスペースをいただきましたので、この場を利用して、皆さんにいろいろな情報を提供していきたいと思います。

まず、その第1弾として、国家試験にまつわる数多くの“うわさ”を並べてみました。単なる噂話から、かなりの的を射ているものまで様々ですが…。

①国試は「電話帳」を3回やれば受かる
 皆さんはご存じないでしょうか、その昔は「タウンページ」並みの厚さを誇る過去問集があったのです。これを3回くらい繰り返して勉強しておけば、国試は大丈夫というのですが、私の友人は答え（ただし番号だけですが）を全部覚え、見事に落ちました。結局、すべてやり方ですよ。

②問題の構成は「過去問」30%、「過去問改」30%、「新規問題」30%、「難問」10%と決まっているので、過去問が完璧ならばほぼ受かる
 何を根拠にと思われるかもしれませんが、実はこれが結構いい線いっているのです。

③過去問は、3年前のものが出やすい
 出題委員の先生方も、去年と全く同じ問題は出せないでしょうし、あまり古いのも……そんな風に考えていくと、人間やはり「3年前」という数字が頭に浮かびませんか。

④その年に話題になったものは、間違いなく出る
 大型新薬が出た、このような感染症が流行した、世紀の大発明があったなど、ニュースで取り上げられたものは、出題委員の先生の頭にも強い印象として残っているでしょうし、問題を作ってみようという創作意欲が、かき立てられるのでしょうか。

⑤出題委員の先生は、自分の「研究テーマ」に関する問題は作らない
 これに関連して作り始めたら、ものすごく難しい問題になってしまうからでしょうか。

⑥正答の番号は、ほぼ同じ比率になっている
 仮に全部「1」をマークしたら、15~20%しか正解しないってことですね。これでは間違いなく落ちます。

⑦△△大学で受験すると、合格率高い
 大学名はちょっと出せませんし、いろんな要素を含んでいそうなので、ノーコメントとさせていただきます。

⑧国試の制度が変わる前の年は、合格率高い
 例えば出題数が200問から240問になるとか、出題範囲が変わるとかいう場合は、問題が簡単になると言われますが、考えてみれば、確かにそんな感じがあるかもしれませんね。

⑨生薬の問題が簡単なときは、薬物動態の問題は難しい
 これは逆も真なりです。根拠は全く分かりませんが、言われてみればそんな感じを受けるような気がします。

⑩判定基準は「正答率」ではなく「合格率」
 言われてみれば合格率は毎年80%前後、これは一体何を意味しているのでしょうかね。やはり得点上位の80%程度を合格にしているのかな？

これ以外にも「噂」はまだまだ絶えません。「火のないところに煙は立たない」という諺もあるくらいですから、何か背景があるような気もしていますが、こんな話を過信して、

煙に巻かれないようにしてください。必ずや訪れる卒試、国試をクリアし、見事「魔法使い」になれるように、心からお祈りしております。

薬物療法の安全性と 地域医療の向上のために… 望星薬局



「薬物療法の安全性、有効性を確保するためにその責任の一端を担い、医薬品の適正使用、薬物療法の改善、向上に寄与することにより社会的使命を果たす」ことを企業理念として掲げております。また、常に業界のリーディングカンパニーを目指し、先駆的な役割を担い、最先端の薬局の創造を心がけ、薬局システム、薬剤師の教育、研究などあらゆる面での新しいものへの挑戦を行っております。

募集要項

募集職種：薬剤師資格取得予定者または薬剤師有資格者（修士を含む）
 初任給：※平成16年度年収実績 365万円以上（大卒） 385万円以上（修士了）
 交通費：全額支給
 休日：4週6休、祝・祭日 特別休暇（年6日） 年末年始（6日） 慶弔、有給休暇（10~20日）
 昇賞：給：年1回 与：年3回（5ヶ月）
 その他：各種福利厚生、教育研修



株式会社望星薬局
 URL: <http://www.bohseipharmacy.com>

【連絡先】〒259-1132 神奈川県伊勢原市桜台2-1-28
 人事課/浦本太一郎
 E-mail: jinji@bohseipharmacy.com または TEL0463-91-4193